

令和7年度 第4回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日 時 令和8年3月13日（金曜日）午前10時から午前12時まで
開催場所 東京都心身障害者福祉センター12階研修室
出席者 妹尾委員長、会田副委員長、岡田副委員長、小出委員、相良委員、清水委員、丹澤委員、徳嵩委員、徳武委員、樋口委員、皆川委員、横山委員、吉田委員、渡辺委員
欠席者 宮田副委員長
事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 和田 他4名
公益財団法人総合健康推進財団職員 4名

1 開会

事務局	- 資料確認 次第 資料1 東京都サービス管理責任者等研修検討会設置要綱 資料2 横断的な課題シート検討結果まとめの図 資料3 令和7年度東京都サービス管理責任者等研修検討会活動報告（案） 資料4 東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む職場のリーダーの姿 Ver.5 - 研修の委託先の公益財団法人総合健康推進財団の方と、本研修検討会を所管している東京都職員が参加している。 - 記録のため速記者が参加と録音させていただく。また、今回の検討会の会議録及び資料は公開するものとされるが、出席委員の意見により公開、非公開を決めることができる。
-----	---

2 報告事項

妹尾委員長	- 今年度最後の会議となる。よろしく願いたい。 - 初めに総合健康推進財団、その後事務局より今年度の研修実施状況について報告をお願いします。
総合健康推進財団	2月27日実施の実践研修N日程をもって、今年度の研修事業は全て終了とさせていただいた。今年度も皆様方のご尽力、お力添えにより、無事に終了できたことをこの場をお借りし、改めて御礼を申し上げる 【実践研修】 - 演習は1月13日のA日程から2月27日まで全14日程で実施。 - 受講決定者1,156名に対し、修了者が1,074名 - 修了証書は、1月修了者分を3月6日、2月修了者分を本日発送予定 3月9日に振り返り会を実施。出席は10名と少人数だったが、貴重なご意見やご感想を伺うことができた。 【専門コース別研修】 - オンラインの動画配信型で、2月16日から18日の3日間実施。 - 受講決定者221名に対し、最終的な修了者数は190名。修了証書は本日発送予定。
事務局	- 東京都が直接実施した演習指導者養成研修について報告する。 1月13日に全日程が終了。最終的に第1回、第2回の修了者は合わせて

	41名。 ほとんどの修了者から来年度もファシリテーターとして協力したいとのご意向をいただいた。
妹尾委員長	今の報告について確認事項等、よろしいか。
各委員	(発言なし)
妹尾委員長	では次に進む。令和8年度研修協力への意向調査及び演習指導者養成研修について、事務局からご報告願う。
事務局	3月2日にメールで、今年度の感謝とともに、来年度の事業についてのご協力をお願いをさせていただいた。 168名の方にメールを送らせていただき、本日現在102名の方から協力へのご回答をいただいている。回答期限は3月16日。申し込まれていない方は申込みをお願いします。また、ご案内メール等がお手元に届いていない方をご存じであれば、ご一報いただきたい。 - 令和8年度演習指導者養成研修の受講者推薦については、4月上旬に検討会委員の皆様をはじめ、ファシリテーターの方々、関係団体、障害福祉サービス等の事業者指定主管課、区市町村障害福祉主管課の関係機関にお願いできるよう準備を進めている。
妹尾委員長	この件について、ご質問や確認事項がおありの方はいらっしゃるか。
各委員	(発言なし)
妹尾委員長	- では、次に進む。 - 報告事項(3) サービス管理責任者研修検討会への部会設置について。事務局からご説明願う。
事務局	- 資料1の設置要綱をご覧ください。 - 年4回の検討会だけでは具体的な内容に関する検討が難しい場合もあるため、検討会設置要綱に部会を設けることができると「できる規定」を盛り込んだ。 - 要綱の記載内容を読み上げる。 第9、検討会は、特定の事項について検討を行うため、部会を置くことができる。 2、設置する部会の名称、人数等は事務局会議で調整のうえ、委員長が決定する。 3、各部会の部会員は、委員及び障害福祉関係機関等から推薦された協力員のうちから、それぞれ委員長が指名する。 4、各部会に部会長及び副部会長を置き、部会員の互選により定める。 - 本検討会同様、部会も年度単位の設置、回数は当該年度の予算の範囲内の実施になる。 - 今年度の新たな試みとして、研修内容が重なる横断的な課題を抽出して検討した。事務局としては、今年度の横断的な課題の検討が、今後も引き継がれていくとよいと考えており、例えば研修教材に掲載する図表の共通化や用語集の作成やOJTへのアプローチなど、今年提案された解決策を取り上げ、実現に向けて集中的に検討することにも部会が活用できるのではと思っている。 - 令和8年度の体制については、本日検討する活動報告も踏まえて事務局案を作成する。この後の研修チームでの話し合いで、部会の活用についても意

	見交換をしていただきたい。
妹尾委員長	・この件は、全く新規のことになるので、もう少し説明を希望されたり、ご質問のある方はおいでになるか。
各委員	(発言なし)
妹尾委員長	・では、グループ分かれた時に意見交換をしていただきたい。 ・報告事項は以上とする。

3 検討事項

妹尾委員長	・年間のまとめ及び次年度への引継ぎ事項について、基礎、実践、更新の研修検討チームに分かれて意見交換をしていただく。 ・まず、事務局作成の横断的課題の検討結果のまとめと活動報告案を確認し、その点について意見交換をしていただく。 ・時間までに活動報告（案）5ページの次年度の取組に記載する内容をまとめていただきたい。 ・予定どおり11時25分から全体会での報告を開始したい。 ・実践研修については、本日、宮田委員が欠席なので、検討後の発表者をグループの中で決めていただけるようお願いする。 ・進め方のほうでご質問等いかがか。
各委員	(なし)
妹尾委員長	・では、検討チームに分かれて意見交換のほうをよろしくお願いしたい。

(グループ討論)

妹尾委員長	・それでは、検討の報告を5分程度でお願いしたい。基礎は岡田委員、実践は樋口委員、更新は会田委員になる。
岡田副委員長	・基礎研修は横断的な課題に今年度取り組んできた内容の確認と次年度に向けてというところを主に話し合った。 ・横断的な課題のまとめ図の順番に基礎研修のほうを確認した。皆様のご意見もいただいたので、迷っていた100文字要約は、ぜひ来年度に復活させようということになった。 ・用語集について、基礎はキーワードを教えていく、学んでもらうスタンスなので、最初から演習ノートに用語集を入れるのは難しいと思っているが、その言葉の説明が、その後の実践、更新で使う用語集の内容と変わらないように気をつけていかなければいけないと思っている。 ・そういった意味では、全体のメーリスで研修資料の完成版を上げ、変更点などを共有するのはいい取組と思っている。いつも締切りぎりぎりだから、それで早まったらという恐怖もあるが、ぜひご覧になっていただきたい。 ・真ん中にある基礎の図やイラストについて。プロセスの図は毎年毎年確認して、内容を変えている。次年度も利用契約の位置を確認中で、変わっていくと思っている。基礎研修は年度を始まってすぐなので、全体に流すメーリスの中でぜひ確認していただければと思っている。 ・協議会の位置づけが分かる資料を示すというところを基礎に持ち帰っているが、基礎研修の受講者にどの程度伝えていくのかがなかなか難しい。知ってもらう機会として実践研修からのお手紙を使って何か取組や仕掛けが

	できたらいいのかとは考えている。 ・一番下のリーダーの姿。基礎研修では、一番最後に掲載して、抜粋したものをスライドに載せて、演習1や演習8で伝えているが、目次の前か目次の後ぐらいに持ってくれば、もう少し受講者が意識できるのかと話し合った。できれば基礎でも実践でも更新でも、同じものを使っていることが、受講者に意識してもらえよと思っている。 ・言葉やキーワードは、改めてもう一度確認していこうと思っている。 ・次年度に向けては、基礎研修は12月に第2回も終わって、年明けから、実はもう演習ノートの作成に向けて動き出している。 ・今年度の振り返りで課題になっていたサービス担当者会議が入っていなかったの、演習に盛り込む形にして、大きなところでいうと、サービス担当者会議のロールプレイを入れ、結果、演習8までだったのが、演習9までになる。 ・講義動画も数年前に作ったものから、制度など変わっているものもあるので、内容を確認して作り直さないと駄目なのかなとは思っている。以上になる。
樋口委員	・実践研修の説明をさせていただく。 ・実践研修は振り返り会があったばかりなので、振り返りの中から深めていくような形で進めた。 ・ICFはモニタリングの場面で扱ったが、事例をICFに当てはめる作業が中心となり、事例の井上さんを理解する視点が伝わりにくかった可能性がある。 ・個別支援計画は、発表だけでなくラウンドができたり、みんなで共有できたりするといいいのではないかな。 ・「個別支援会議」という名称や位置づけについて、基礎研は計画の説明をするところを、実践研は原案ができていて本人に確認し紙を残すというところにずれがあり、その点の説明を丁寧に行う必要がある。 ・ICFそのものを演習で扱うよりも、「井上さんの事例をICFに当てはめて書くところという状況」というのを図表に示し、基礎研修で学んだニーズやストレングスの視点の振り返りを入れたほうがよいのではないかな。 ・こういったことから、来年度を見据えて、実践研の一連の流れについて井上さんを軸に構成し、後半は事例検討や助言指導のOJTにつなげる方向性について話をした。モニタリング、個別支援会議、協議会と一連の流れの中で、井上さんのその後や地域課題を扱ってきており、今後もその流れを意識して進めたい。 ・OJTを受けていない受講者もいるところを踏まえ、「1日目は井上さん軸で基礎研の復習をするので、OJTを受けていない方も安心して実践研修を受けてください」といったフレーズを入れたらどうかという話も出た。 ・基礎研修で扱っているアセスメント、ニーズやストレングスの捉え方について、実践研修でも改めて確認できることで、基礎研修を思い出しながら学べる流れになるのではないかな。 ・演習ノートについては特定のページ番号を参照する方法は、年度ごとにページがずれるので、図や会議の構図などは、基礎・実践・更新研修で統一できるとよい、という意見が出ていた。

	・ O J T に関しては、受講者自身の振り返りに加え、事前課題で管理者にもコメントを記載してもらうことで、管理者側にも O J T の役割や重要性を意識してもらえるとよいという話もあった。管理者にも趣旨を理解してもらえたらよい。 ・ 次年度の取組については、これまでの議論を踏まえて具体化していきたいということが確認され、部会については、演習ノートの表の整理や言葉の整理など、共通して使用できる資料の統一について検討できるとよいという意見が出された。
会田副委員長	・ 更新研修について報告をさせていただく。 ・ 全体的なところでは、演習ノートに入れてある用語集を横断的な課題も踏まえながら見直しをしていけるといいという話をした。 ・ 更新研修は演習が終わった後、事後動画の配信を見て終了になるが、事後動画配信の終わりに「さあ、東京の福祉をみんなで盛り上げていきましょう」というフィナーレにしているのに、集合型の演習の最後は「演習お疲れさまでした」という形で、ちょっと味気ないんじゃないかということになった。集合型の演習の最後を「さあ、みんなで頑張りましょう」にして、事後動画配信の終わりを「お疲れさまでした」という、ちょっとあっさりしたものに入れ替えようということが話された。 ・ 演習ごとに話したところでは、個別支援計画について、更新研修しか受けていない人の中には、ポイントを押さえられないままサビ管をやっている人もいるのではないかと、サビ管としての自己検証が事業所としての自己検証の科目で、個別支援計画のワークや事前課題の中で大事なポイントを振り返れるようにしてみてもいいのではないかという意見が出た。 ・ 関係機関との連携の科目では、先ほど岡田さんのお話でもあったが、自立支援協議会の役割が分かるような動画等を入れられると、より理解がしやすくなるのではないかと、国でそういった動画があれば載せられたらいいという話があった。 ・ 職員へのスーパービジョンの科目では、ペアワークが好評ではあった一方、ただ雑談しているペアも中にはいたので、教室進行が途中途中「今ステップ1ですよ」とか、「そろそろ、ステップ2に入ってください」というような誘導を仕掛けられたらいいという意見が出た。 ・ O J T についても、演習1の事後動画で取り上げているが、演習4の職員へのスーパービジョンの科目でも、O J T につながる声かけができるという意見があった。 ・ 事例検討のスーパービジョンを令和7年度は教室全体で行なったが、教室進行がサビ管役もやるのは大変だったので、次年度は、教室進行は教室進行、サビ管役はファシリの方にやっていただいて、事例提供者役もファシリの方とする。事例提供者役が教室で出たアイデアを選ぶときに、ホワイトボードに書かれていると選びやすいという意見があり、ホワイトボードにアイデアを書く役もファシリの方に担っていただけたらという意見があった。 ・ 会議名称の統一のところは、用語集を使いながら、基礎、実践と合わせて検討できたらいいという意見があった。
妹尾委員長	・ 補足や質問はいかがか。

岡田副委員長	・基礎研修から報告し忘れた。実践から頂くOJTのお手紙の内容と基礎研修でやっていることを見返していただけたらいいと思っている。そういうところは今後、メーリングリストで流せばよいか。全体にメールすると返信しづらいかもしれないが。 ・「今こういう方向で基礎研修を考えているので、お願いします」等と投げてよいかという確認をしたい。用語やキーワードもそうだし、プロセスをこう変えたみたいなのところも、基礎が一番最初なので、皆さんにご報告ができるといいと思っている。
妹尾委員長	・ありがとうございました。その他にはいかがか。
各委員	(発言なし)
妹尾委員長	・今年度は初めての試みとして、各研修を超えて、新しいグループ分けをして横断的な課題について検討する時間を設けた。この件について、皆さんお一人お一人からその成果、ご意見やご感想を含めてコメントをいただきたい。
清水委員	・実践研修でいろいろ検討してきて、課題もたくさんあるが、少しずつ進んでいると感じている。 ・OJTについても、取り組んできている方も増えていると思うし、横断的な取組も今年度やって、研修全体の進み具合や理解度というのは成熟しつつあると思う。いい研修を今後も続けていけたらと思っている。1年間ありがとうございました。
樋口委員	・横断的なところは、グループごとに話し合ったことがきれいな表にまとまっていて、私も見返してみても見やすく、何となく課題も分かる。 ・横断的な課題を話せたことで、より流れができて、東京都の研修は国よりもよくなっているのではないかとと思っている。 ・実践研修も、今回科目を入れ替え、よかった点もすごくあったので、今後さらにブラッシュアップしていけるように、来年度もまた頑張っていきたい。本当に1年間ありがとうございました。
渡辺委員	・私も横断的なところは、素晴らしい取組だと思っている、受講生さんが単発で基礎研、実践研、更新研を受けているのではなく、つながっていることや、サービス管理責任者というのはこういうことが大切なんだよと、つながりを持って当たっていただきたいところを、さらにプッシュして、理解していただける内容にすることで、東京都のサービスの質の向上にもつながるのではないかと感じた。 ・実践研に関しては、私が担当しているところにまだ課題あり、皆さんにご迷惑をおかけして申し訳ないと思う。来年度またブラッシュアップしていきたいので、ご意見等いただきたい。1年間どうもありがとうございました。
小出委員	・実践研修を組み立てながら、前後の関係が重要なことや、これだけの人数の人に学びを届けることはとても難しいと思った。 ・今回、横断的に検討委員会で話し合えたことで、今、基礎はこういうことで進んでいるから実践ではこういうことを伝えなきゃいけない。でも、更新に行く5年間の間に・・・など、自分自身も実践研修を考えるに当たって学びがあった。 ・今年、国研修にも出させていただいて、国の求めていることもあるが、東

	京都は東京都の規模というのもあると思うので、検討委員会で皆さんと集まって議論して、会社から言われたので来ましたというのではなく、サービス管理責任者をやっていること自体が、本当に福祉の当事者の方に影響するということろまで、研修として届けられたらいいなと思った。来年もどうぞよろしくお願いします。
皆川委員	・今年度の取組として、この横断的な課題の検討を提案していただいたときに、「あ、これだ」って思ったのを思い起こしている。ともすると、この1分2分をどうやって詰めるかとか、この行数をどうやって3行にするかとか、そういう小さいところに行きがちで、もちろんそれもすごく大事なことでとは思いますが、少し俯瞰して、その前がどうなっているかというところが見えることで、自分の資料作成も厚みが増したと思っている。 ・時間調整など大変だと思うが、このような取組ができることで、さらによいサビ管、児発管の研修会が企画できるのではないかなと思う。 ・今年度は私も国研修に出させていただいて、そこで色々な学びがあったので、来年度もそれを還元できるというかなと思っている。1年間ありがとうございました。
丹澤委員	・横断的な課題、特に私の場合は、自立支援協議会のことで悩み、これでいいのかなと思いながらテキストを作っていたので、皆さんと本当に腹を割って話をして、流れや道筋が見えてきたという感じがする。今後はそれをどうやって形に、具体的にしていくかというところに注力すればいいのかなと思えている。本当にありがたかった。 ・更新チームでは、私が国研修で受けて「これはすごくよかった」、「これがすごく楽しかった」ということをすぐ取り入れてくださって、研修をつくることができた。次年度は、それをブラッシュアップして、さらにいい研修ができたかと思っていたところで、すごく残念で悲しいが、今回をもってお二人がご卒業されるというところで、メールを頂いたときには、自分の机で固まってしまったぐらい動揺した。でも、お二人のご意思をしっかりと継いで、令和8年度、よい研修にしていきたいと思う。本当にありがとうございました。また来年度もよろしくお願いします。
徳武委員	・横断的な課題に取り組むことで、私自身の視野も広がったし、つながりを意識して更新研修の内容もブラッシュアップできるきっかけになったと思う。 ・改めて「現場のリーダーの姿」に示されている軸のところを大事にして、これからはもしっかり共有していくことが大事なのだろうなと改めて思った。ありがとうございました。
会田副委員長	・1年間を振り返らせていただいて、色々なところでつながっているんだなということを実感できた。自分の業務だけを考えるのではなく、基礎的なところを覚えなきゃいけない職員もいたり、リーダー的なところを学んでいかないといけない職員もいたり、業種は違えどきっと相談支援専門員の業務などもつながっている部分があるだろうと思うと、やはり勉強して、吸収していかないといけないということを改めて感じた。 ・更新研修のファシリテーターをやりたがる人が少ないという情報を聞いたので、ぜひやりたがる人が増えるようなキャンペーンを打ち出していただけたらと思う。ありがとうございました。

徳嵩委員	・今年、初めて参加させていただいて、国研修も参加させていただいて、このサビ管・児発管の研修を皆さんがつくられているところが少しずつ見えてきたところ。 ・本当にどの研修も時間がいっぱいいっぱい、内容も盛りだくさんというのは変わらないし、伝えていないことはたくさんある中で、どう精査していくかがすごく難しいところだと思っている。 ・その辺も踏まえて、来年度の資料作りも進めていきたい。来年もよろしくお願いいたします。ありがとうございました。
吉田委員	・今、基礎研修の演習ノートを作っているのですが、図を見て思ったが、竹村まりかさんのライフステージ、幼児期、学齢期、青年期は、基礎、実践、更新のことなのかなと思ったり、この先を見据えてどう基礎をつくっていくのかとか、点と点が線につながっていく実感が1年間すごくあった。 ・他と比べることで、基礎の強みとか大切さというのがすごく鮮明になり、比較することで見えてくるものがたくさんあった。 ・あとは自分にとっては、単純にいろんなことをお話しできるのが、この場に身を置かせてもらうのがとても楽しいなというのが感想で、引き続き来年度もよろしくお願いします。ありがとうございました。
横山委員	・基礎研修は年2回あるので、チーム内の関わりを比較的多く持っているチームかと思うが、チームごとの視点だけでなく、おのこの視点だけでなく、横断的な関わりを持つことで、検討会がとても充実した1年だったと思う。横断的な検討が「リーダーの姿V e r . 5」ともリンクしていくことでより研修が深まると思うので、引き続き検討ができるといいと思っている。 ・今年度専門コース別研修も関わらせていただいたが、相談の視点を含みつつ、とても勉強させていただいた。専門コース別研修もきちんとV e r . 5にリンクしながらやっていけるといいと思った。 ・演習指導者養成研修でも、こういったことを伝えつつ、来年度に向けて稼働していきたい。また来年度もよろしくお願いします。
相良委員	・この委員や教室進行をやらせていただいて、何年たってもすごく「学び」を感じている。 ・特に基礎研チームにいて演指研にも関わっているのですが、演指研の担当をしていただいている尾上先生から学ぶことがかなりある。同じ先生にずっと続けていただくということにいつか限界がくるのか、大変だろうなとも思っているが、例えばペアワークを自分の担当する演習に取り入れたら、広がっている雰囲気があったり、他にも教室進行をやるときに、「これいいな」ということを取り入れさせていただいた。 ・基礎研だけでなく、チームを越えて尾上先生のところで学べるものが伝わっていったらいいかと思う。難しい面もあると思うが、何かしていただけたらうれしい。 ・もう長いので、いつやめようと思いつつやっているが、来年も頑張るので、またよろしくお願いします。
岡田副委員長	・先ほど相良さんがおっしゃったみたいに、ぜひ実践の方とか更新の方からも演指研に何か関わっていただけると、ファシリテーションの養成にもつながりを持っていけるのかなと思う。

	・「つながり」はとてもいい言葉だと思っている。研修も、私たちも、この検討会ももっとつながりが深められるとよい。横断的な課題の検討もとてもよかったので、ぜひ続けていってもらいたい。ありがとうございました。またお願いします。
妹尾委員長	・皆様、どうもありがとうございました。 ・各検討チームからの報告を基に加筆修正して、令和7年度の活動報告を確定していくことになる。事務局は、加筆修正後、委員の方のご了承について、よろしくお願いしたい。 ・会田副委員長と徳武委員が今年度で検討委員会を下りられることになった。お一人ずつ、メッセージをお願いしたい。
会田副委員長	・皆様、本当に長らく検討委員をとり組ませていただきまして、ありがとうございました。 ・2019年度からだったと思うので、7年もやっていたんだというのが自分の中でも不思議だったのと、自分の事業所の業務だけでは絶対気づけないこととか、学べないこととか、いろんなお話を聞かせていただいた。この場に出ているだけで、すごく貴重な研修に参加させてもらっているような気持ちでした。 ・事業所の業務のこともいろいろあり、今年度で退任はさせていただきますが、ファシリテーターだったり、何かしら自分でお役に立てるところがあれば、引き続き参加させていただけたらと思っているので、どうぞよろしくお願いいたします。本当にどうもありがとうございました。
徳武委員	・更新研修チームで、私はスーパービジョンを担当させてもらって、何とかしていいものをつくりたいなと思ってやってきた。本当に自分にとってもいい学びとなったし、皆さんからもいろいろ教えてもらえた。 ・法人内で、だんだん利用者支援に関わるような仕事ではなくなってきたこともあり、最近何かいろいろなことを覚えていられなくなって、ただ全て大体忘れてしまうので、ある意味新鮮な気持ちでいつも聞いてはいるが、そういうことも考えて、検討チームの仕事もやりがいより、自分にとって負担の気持ちが少し大きくなっていったというのが正直あって、皆さん、すごく思いを持ってやっていらっしゃるし、新しいファシリもどんどん育っているの、いいタイミングなのかなということで、今回決断させていただいた。 ・またいろんな場面でお会いできればと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

妹尾委員長	・お二人、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。 ・それでは、議事録と資料のホームページ公開について、委員の皆様、ご了承いただけるか。
各委員	(了承)
妹尾委員長	・では、本日の検討事項が済んだことを宣言して、進行を事務局のほうに戻させていただきます。
事務局	・妹尾委員長、ありがとうございました。 ・本日の第4回検討会をもって、令和7年度の検討会が全て終了となる。本年度最後ということで、地域支援課長より挨拶させていただく。

事務局（地域支援課長）	・お忙しい中、令和7年度第4回東京都サービス管理責任者等研修検討会にご出席いただき、誠にありがとうございます。 ・皆様から今年度1年間の感想をお聞かせいただき、2つお伝えしたいことがある。 ・一つは、人材育成を時間の流れで捉え、基礎・実践・更新と段階的に積み重ねていくという考え方だと理解しました。人を育てることは一朝一夕にできるものではなく、重層的に取り組んでいくものと捉え、この考え方は、東京都の人材育成にも大いに活かせるものだったこと。 ・もう一点、東京都のかつての部下が今年、演指研を受講した。彼女が、個人名を出して申し訳ないが「横山先生がファシリテーターのグループの人たちに与える刺激と、私なんかが入られる刺激の量が全く違う。」と感想を述べながら、とてもうれしそうな顔をしていたこと。 ・おそらく皆さんは、慣れていないファシリテーターの方から見ると「あんなふうに私になりたい」、「あんなふうに後輩に刺激を与えられる、人材育成ができる人になりたい」という、憧れの存在、目指す姿なのだった。 ・本当にこの1年間ありがとうございます。そして、会田委員も徳武委員もこれが最後ではないというふうに言っていただけましたので、そこも期待して、引き続きご協力いただけるよう、よろしくお願いしたい。
事務局	・以上で閉会とする。皆様、お忙しい中のご参集、誠にありがとうございました。